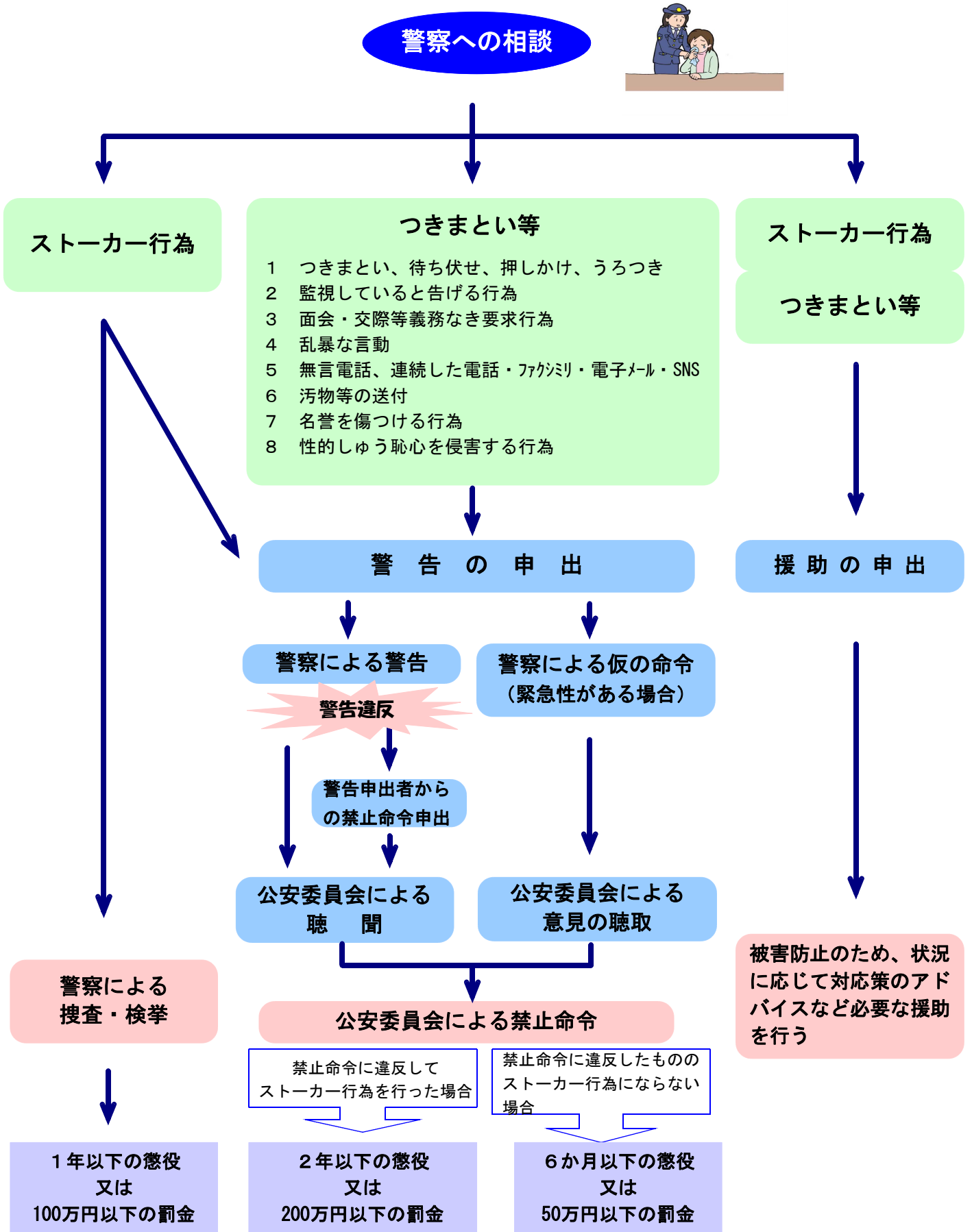


～ ストーカーからあなたを守るために ～

【ストーカー規制法のしくみ】



※ このほかの措置として、相談内容を基に被害者の意思を踏まえた上で、行為者への指導警告を行うなど必要な措置を講じます。

※ 警告、禁止命令を申し出た被害者には、実施結果を連絡します。



つきまとい等とはどのようなもの？

つきまとい等とは、あなたに対する恋愛感情やその他の好意の感情又はそれが満たされなかったことへの怨みなどの感情を満たす目的で、あなたやあなたの家族、恋人等に8つのパターンに類型化された行為をすることをいいます。



8つの類型とはどのようなもの？

パターン1 つきまとい・待ち伏せ・押しかけ・うろつき

- 尾行したり、つきまとう。
- 通勤路や通学路等で待ち伏せしたり、進路に立ちふさがる。
- 自宅、職場、学校等に押しかけたり、付近をうろつく。



パターン2 監視していると告げる行為

- 「いつも監視しているぞ」などと伝える。
- 帰宅した直後に「お帰りなさい」などと電話や電子メールで伝える。
- その日のあなたの行動や服の色等をあなたに知らせ、監視していることを気づかせる。



パターン3 面会・交際等義務なき要求行為

- 拒否しているにもかかわらず、面会、交際、復縁を求める。
- 贈り物を受け取ることなどを要求する。



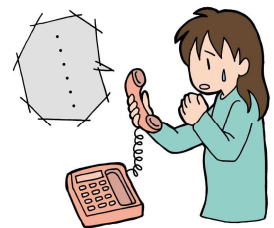
パターン4 乱暴な言動

- 大声で「バカヤロー」などと荒々しい言葉をあびせる。
- 自宅や職場等の前で大声を出す、車のクラクションを鳴らす、玄関ドアを激しく叩くなど乱暴な行動をする。
- 乱暴な言葉を書いた手紙や電子メールを送る。



パターン5 無言電話、連続した電話・ファクシミリ・メール・SNSのメッセージ等

- 電話をかけてきても何も話さず、不安を感じさせる。
- 拒否しているにもかかわらず、何度も電話をかけてきたり、何度もファクシミリや電子メール、SNSのメッセージを送信してくる。



パターン6 汚物等の送付

- 汚物や動物の死体等、不快感や嫌悪感を与える物を自宅や職場に送りつける。



パターン7 名誉を傷つける行為

- あなたの名誉を傷つけるような内容を告げたり、手紙や電子メールなどを送りつける。
- あなたの名誉を傷つけるような内容を、あなたがよくアクセスするインターネット上の掲示板に書き込む。



パターン8 性的しゅう恥心を侵害する行為

- わいせつな写真等を自宅や職場に送りつけたり、あなたがよくアクセスするインターネット上の掲示板に掲載する。
- 電話、手紙、電子メールなどで卑わいな言葉を告げ、恥ずかしい思いをさせる。





ストーカー行為とはどのようなもの？

ストーカー行為とは、同一の人に対してつきまとい等（前記のパターン1から8）を繰り返し行うことをいいます。

なお、8つの行為類型のうち、パターン1から4、パターン5の電子メール及びSNSメッセージの送信がストーカー行為にあたるのは、「身体の安全、住居等の平穩、名誉が害される」「行動の自由が著しく害される」という不安を覚えさせるような方法で行われる場合に限られます。



つきまとい等やストーカー行為の被害にあったときはどうしたらいいの？

- 緊急の場合は、110番通報をしたり、周囲に助けを求める。
- 一人で悩まず、警察や信頼できる人に相談する。
- 被害を受けた日時、場所、行為者の車の色やナンバー、目撃者等をメモしておく。
- 行為者の具体的な言葉や動作などを記録する。

（例）・留守番電話や会話の録音又はメモ

- ・手紙、ファクシミリなどの保管
- ・電子メールの保存
- ・中傷ビラ、インターネット掲示板への書き込み内容の保管
- ・送られてきた物の保管
- ・写真による記録



ストーカーから身を守るにはどのようにしたらいいの？

行為者への対応

- 曖昧な態度はとらない。
- はっきりと拒否の姿勢を示す。
- 感情的にならず、冷静に対応する。
- 行為者と会わなければいけない場合は、第三者を入れるなどし、二人きりでは会わない。

自宅での防犯アドバイス

- 自宅にいるときも戸締まりをしっかりする。
- 部屋の中が見えにくいカーテンを使用する。
- 訪問者があったときは、相手の身分と用件を確認してからドアを開ける。
- ドアや窓に補助錠を付ける、玄関にセンサーライトを付けるなど、防犯グッズを活用する。

外出時の防犯アドバイス

- 夜間の一人歩きは避け、明るく人通りの多い道を通ったり、タクシー等を利用する。
- 携帯電話は、110番通報や自宅等にすぐに連絡できるようにしておく。
- 防犯ブザーを携帯し、いつでも使用できるようにする。
- 通勤路、通学路等にある助けを求められる場所(交番、コンビニ等)を把握する。
- 行動パターンを知られないようにする。(通勤、通学の時間や経路の変更等)

個人情報管理

- 個人情報が記載されているものは、細かく裁断して捨てる。
- 安易に住所、電話番号、メールアドレスなどを教えない。

電話による行為への対応

- はっきりと拒否の意思を伝えた上で、応対せずに電話を切る。
- ナンバーディスプレイ機能付きの電話を使用する。
- 電話会社が提供している「迷惑電話お断りサービス」等の各種サービスを利用する。
- 電話番号やメールアドレスを変更する。



一人で悩んでいませんか？

ストーカーの被害は、一人で解決できるものではありません。
行為がエスカレートすると、生命や身体に大きな被害を受けるおそれもあります。
また、あなただけではなく、あなたの家族や親しい関係にある人にも被害が及ぶ場合があります。

一人で悩まず、被害が深刻になる前に警察に相談してください。

警察では、あなたの意思を踏まえて適切な措置を講じます。

警察相談窓口

- 県民安全相談センター 018-864-9110（#9110）
- 警察本部・各警察署（代表）

警察本部	018-863-1111	秋田中央警察署	018-835-1111
鹿角警察署	0186-23-3321	秋田東警察署	018-825-5110
大館警察署	0186-42-4111	由利本荘警察署	0184-23-4111
北秋田警察署	0186-62-1245	にかほ警察署	0184-43-2935
能代警察署	0185-52-4311	大仙警察署	0187-63-3355
五城目警察署	018-852-4100	仙北警察署	0187-53-2111
男鹿警察署	0185-23-2233	横手警察署	0182-32-2250
秋田臨港警察署	018-845-0141	湯沢警察署	0183-73-2127